

サポプラ通信

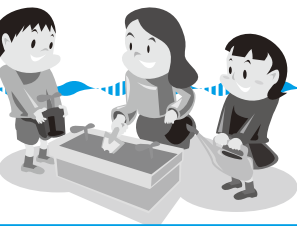
[vol.75]

サポプラROOM

★ 団体交流会「つなが輪」を振り返って ★

2月21日(日)人財バンク、登録団体の方々が一堂に会して交流を図る交流会「つなが輪(りん)」が開催されました。日々、いろいろな所で活動されている皆さんが、横のつながりをもっと深めよう、お互いに得意なことを活かして補い合おう…と交流を図るのが「つなが輪」の目的です。

より効果的な交流チャンスや情報交換の方法を考えてみました。それが今回採用した「お見合い回転寿司」です。イスを並べて大小の輪を作り、向かい合ってペアを組み、それぞれ自己紹介をします。紹介がすんだら、外側の輪の人が一つ座席を移動します。全員と自己紹介しあうまで続けます。こうした中で、当日は5組の「お見合い」(マッチング)が成立しました。



★ 「3.11を忘れない@へきなん」開催される ★

東日本大震災が発生してから丸5年。3月11日には日本各地で鎮魂、祈りの式典が催されました。サポプラでも、昨年に引き続き実行委員会で検討し、3月5日(土)に上記イベントを開催しました。

愛知県防災局の方を講師とした2つの防災講座、駐車場で五平餅とうどんの提供、こなまずくんによる地震体験、チャリティ東北物産展、和太鼓演奏とつづき、最後にキャンドルナイトで締めくくりました。災害パネル展も併設しました。

5年間という「時間の流れ」、碧南から「遠く離れた場所」での災害は、私たちの日常生活からは「遠い存在」のようにも思いがちです。でも5年前の大震災の教訓を忘れず、巨大地震への備えを考えるきっかけとしようとしたこのイベントは、今後とも続けて行こうと決意を新たにしました。



★告知版★

●「アフリカへ毛布を送る運動」

地域の皆さまから毛布をお譲りいただく活動・運動です。

「アフリカの人々の身体と心を温めよう」

日時 平成28年5月15日(日)

場所 碧南市市民活動センター【サポプラ】

※ご不要になった毛布がありましたら、お持ちください。
※これは登録団体「西三河明るい社会づくり運動碧南支所」様からの情報です。

●スキルアップ講座「講師に挑戦してみよう」

日頃の活動をアピールするチャンスです。講座・集会の講師に挑戦するスキルを身に付けてみませんか。

講師 舟橋正浩(元サポプラスタッフ、経営コンサルタント)

日時 5月(詳細未定、追って告知します)

●参加型 まちづくりの担い手講座 ファシリテーター養成コース

日程 6月25日、7月23日、8月27日、9月24日、10月22日

※全日程土曜日開催です

時間 12:30~16:30

場所 へきなん福祉センターあいぐる第1会議室

(内容詳細は追って告知します)

碧南市市民活動センター【サポプラ】

住所 碧南市山神町8丁目35番

へきなん福祉センターあいぐる内

電話 0566-42-6561

FAX 0566-42-6571

E-mail info@hekinan-plaza.jp

開館日 火曜日~日曜日

休館日 月曜日(祝祭日の場合はその翌日)

開館時間 9:00~21:00(日・祝は9:00~17:00)



団体DATA

彩字季

代表者名	宮脇 貴子
活動拠点	メンバー宅
活動日時	月1~2回
会員数	4名
問合せ先	碧南市市民活動センター【サポプラ】 (0566(42)6561)

私たちのメンバーの中の一人が、東日本大震災で奥様を亡くされたひとり暮らしの叔父を見舞った時のことでした。「送られてくる絵手紙が慰めになっていたよ」と感謝されたんです。その言葉を聞いたとき、地元でもひとり暮らしの年配の方たちが、私たちの絵手紙で季節を感じたり、ポストを開けるのを楽しみにしていたかもしれないなあと思いました。絵心のない私たちがこのボランティアを始めたのは、そんな思いがきっかけでした。

まだ結成して3年半くらいです。女性4人で月1~2回のペースで楽しみながら絵手紙を描いています。今、15人の方にお届けしています。私たちの絵手紙を希望される、ひとり暮らしの方がいらっしやいましたら、サポプラまでお声をかけてください。不定期ではありますが、お送りさせていただきます。



今月の「が」



しゅざい日記

「3.11を忘れない@へきなん」が、3月5日(土)あいぐる内で開催されました。東日本大震災を忘れないをメインテーマにしたイベントです。その中の催しのひとつに、「チャリティー東北物産展」がありました。今年も、物産展を担当した新川銀座発祥会(代表 松永和男さん)の皆さんが大活躍でした。前日午後6時頃から、発展会の8名程の方が物品の陳列作業に来館。翌当日は、きれいな衣装を身に着けた、3人のご当地アイドル「銀座戦隊ハッテンジャーズ」さんも登場。売り場の雰囲気が一気に華やかに!

翌日、翌々日も、サポプラでチャリティー東北物産展をつづけました。そのかいあって、塩竈市観光物産協会を通して、利益の58,950円を被災者の方々に寄付させていただきました。

